

<一般論文>

小説投稿サイトの比較分析

ジャンルとキーワードの頻出語彙に着目して

山城拓真, 今野創祐

目次

序章

第1節 問題意識と研究目的

第2節 先行研究の検討

第3節 研究方法

第1章 各小説投稿サイトの概要

第2章 ジャンル分析

第1節 ジャンル分析結果

1. アルファポリス

2. エブリスタ

3. カクヨム

4. 小説家になろう

5. ステキブンゲイ

6. 野いちご

7. ノベルアップ+

8. NOVEL DAYS

9. 魔法のiらんど

第2節 ジャンル分析におけるまとめ・考察

第3章 キーワード分析

第1節 キーワード分析結果

1. 恋愛作品が人気な小説投稿サイト（「アルファポリス」「エブリスタ」「小説家になろう」）

1.1 野いちご

1.2 魔法のiらんど

1.3 エブリスタ

1.4 アルファポリス

1.5 小説家になろう

2. ファンタジー作品が人気な小説投稿サイト（「カクヨム」「ノベルアップ+」）

2.1 カクヨム

2.2 ノベルアップ+

3. 二次創作作品が人気な小説投稿サイト（「暁」「ハーメルン」）

4. 人気な作品のジャンルが多岐にわたっている小説投稿サイト（「ステキブンゲイ」 「NOVEL DAYS」）

終章 当研究の限界と展望

引用・参考文献

序章

第1節 問題意識と研究目的

近年、ニコニコ動画や小説家になろう、pixiv等の利用者投稿型共有サービスが人気である。これらのサイトはCGM(Consumer Generated Media)とも呼ばれる。それらのCGMコンテンツを提供しているサイトは、社会に大きく影響を与えている物も少なくない。誰しも、手軽にネットに接続することが出来るようになったことで、作品の投稿、利用者による閲覧が容易になり、発展を遂げたと考えられる。今回、筆者らが着目したのは、「小説家になろう」を始めとする、小説投稿サイトである。

小説投稿サイトは、登録が必要な場合もあるが、基本的に無料で、自由に小説を掲載・閲覧することが出来るサイトである。また、読者が感想や評価を付けることが可能であり、作者もその感想に対してコメントを返す等、双方向のコミュニケーションが可能なサイトも存在する。人気の小説は書籍化されるのみならず、マンガ、ゲーム、アニメーション(アニメ)になる場合もある。

主な小説投稿サイトとして、「小説家になろう」「カクヨム」「アルファポリス」「pixiv小説」「魔法のiらんど」等、様々なサイトが存在している。それらのサイトの運営団体の規模や運営方針は様々に異なっている。しかし、各小説投稿サイトの相違点について、データに基づいた客観的な比較がなされている記事・研究は確認できなかった。その為、サイトごとの投稿者、利用者層から、各サイトの特異性を客観的に比較することで、日本における小説投稿サイトの現在の特徴を把握することが可能と考えた。

また、当研究では、英語を始めとする外国語で書かれた小説の投稿サイトは含まず、あくまで日本語を用いた小説の投稿を受け付けているサイトを研究対象としている。理由としては、読者層が著しく異なっていること、言語表現、文化が異なる為にタイトルやキーワードで比較することが困難であるためである。

第2節 先行研究の検討

先に述べたように、小説投稿サイトの比較分析を行っている研究は確認できなかったが、「小説家になろう」を対象としたキーワードの多様性分析を行っている研究は存在した¹⁾。

本田、伊東(2017)は、近年、CGMサイトの投稿コンテンツの画一化が懸念されており、既に見たことのあるようなコンテンツや派生コンテンツの増加が感じられると述べている。そのため、「小説家になろう」を対象として、オンライン小説の多様性動向を分析している。

彼らは、研究方法として、①小説情報の収集②収集データの解析③多様性動向分析の三段階で研究をしている。小説情報の収集では、「小説家になろう」における小説データがYAML形式であることを利用し、小説情報を収集するプログラムを作成し、作者ID約40万個、またそれに紐づく小説データを収集した。また、多様性動向分析ではcos類似度を利用して小説データの中のキーワードに着目し、多様性動向を分析していた。

結果として、小説のキーワードの多様性が減少傾向にある、という結果を導き出していた。研究方法の特徴として、「小説家になろう」という一つのサイトに絞った上で、2004年に運営が始まった時点からデータ収集時点である2014年5月までのデータを収集し、推移から分析を行っている。それに対し、筆者らは、一つの小説投稿サイトの推移ではなく、一時点の複数の小説投稿サイトの比較という方向性での分析を行う。

第3節 研究方法

まず、研究対象とする小説投稿サイトを定めた。研究対象とする小説投稿サイトは、以下のサイトである。選択基準としては、短編、長編問わず小説を投稿できるサイトであること、基本的に一般向けの小説投稿サイトであることを基準とし、以下の小説投稿サイトを選出した。

①「暁」②「アルファポリス」③「エブリスタ」④「カクヨム」⑤「小説家になろう」⑥「ステキブンゲイ」⑦「野いちご」⑧「ノベルアップ+」⑨「NOVEL DAYS」⑩「ハーメルン」⑪「魔法のiらんど」

各小説投稿サイトの概要は、次の章でまとめて紹介する。

次に、各小説投稿サイトの動向を分析するために、それぞれの小説投稿サイトのブックマークや評価などによって決定されるランキング上位100作品の小説のデータを抽出した。ここで利用したランキングは、月別のランキングであるが、月別のランキングが存在しなかった小説投稿サイト「エブリスタ」「ステキブンゲイ」「野いちご」は、日ごとに更新される人気ランキングを用いて抽出した。また、抽出したデータは「ジャンル」「タイトル」「作者」「キーワード(タグ)」の4つである。それらを目視、手作業で抽出し、分析、考察を行った。

全て、2024年11月16日時点のランキングを用いて抽出した。

第1章 各小説投稿サイトの概要

この章では、各小説投稿サイトの概要について、簡略にまとめる。

各小説投稿サイトは、前章でも述べたように、主要な小説投稿サイトの中から、以下の基準を満たしているサイトを選抜した。

1. 多数の人間が同じ立場で主に小説作品を投稿、また閲覧できるサイトであること

これは、小説投稿サイトの定義にも含まれている事項ではあるが、ある一定の人物だけが小説や作品を投稿できるサイト、例えば、プロの作家の作品を読むことのできるサイト、一般公開ができず、不特定多数の読者が閲覧することができない小説投稿サイトは含めない。また、漫画やイラストを中心として取り扱っている CGM サイトは、今回の調査では含めていない。

2.長編(連載)小説を投稿することのできるサイトであること

小説投稿サイトの中には、「Prologue」²や「ショートショートガーデン」³のように、掌編、短編小説専門の小説投稿サイトも存在している。しかし、掌編、短編小説専門の小説投稿サイトと長編小説も投稿できるサイトでは、根本的なジャンルや作者層・読者層が異なり、比較する意義が薄いと考えた為、当研究では短編小説専門の小説投稿サイトは研究対象とはしない。

3.全年齢向けの小説投稿サイトであること

大人向けの小説のみを取り扱っている投稿サイトは研究対象に含めていない。ただし、今回取り上げた小説投稿サイトの中には、R-15、R-18等のキーワードが付与されている小説が掲載されているサイトも存在しているが、基本的に全年齢向けの小説を取り扱っている小説投稿サイトであるため、比較対象に含めている。

表1 (小説投稿サイト概要)

サイト名称	運営元	開設年	表紙イラスト	二次創作作品
暁	肥前のポチ(個人運営)	2012	×	○
アルファポリス	株式会社アルファポリス	2000	○	×
エブリスタ	株式会社エブリスタ	2010	○	×
カクヨム	株式会社 KADOKAWA, 株式会社はてな(共同開発)	2016	×	△(一部の作品のみ)
小説家になろう	株式会社ヒナプロジェクト	2004	×	×
ステキブンゲイ	ステキコンテンツ合同会社	2020	○	×
野いちご	スターツ出版株式会社	2007	○	×
ノベルアップ+	株式会社ホビージャパン	2019	○	△(一部の作品のみ)
NOVEL DAYS	株式会社講談社, 株式会社未来創造(システム開発)	2018	○	×
ハーメルン	個人運営	2012	×	○
魔法のiらんど	株式会社 KADOKAWA	1999	○	×

表1に、各小説投稿サイトの特徴をまとめた。以下、表1の各項目について補足説明を行う。

- ・サイト名称：本稿執筆時点のサイト名称である。開設時の名称と異なっているサイトも存在している。
- ・運営元：サイト名称と同じく、本稿執筆時点の運営会社の名称である。個人で運営している小説投稿サイトは、ペンネームや運営の名称を記載しているが、運営名が定められていない場合は「個人運営」とだけ記している。
- ・開設年：正式に開設された年を記載している。試運転として、限られた人々のみに公開されていた期間や、投稿のみしか行えなかった期間は含めず、不特定多数の人物が自由に作品を投稿、閲覧ができるようになった年月日を記述している。
- ・表紙イラスト：小説投稿サイトの中には、投稿した小説に表紙イラストを付け、読者のためにトップページや検索結果に表紙画像が表示されているサイトが存在する。基準として、小説を執筆、投稿した際に、表紙イラストを付けることが必須となっているサイトを○としている。小説内にイラストを添付することができるかどうかは判断基準の中に含まない。
- ・二次創作作品：二次創作作品とは、作者が一から考えたキャラクターや世界観ではなく、既存のキャラクターや世界観を使用して執筆している作品のことである。小説投稿サイトごとに投稿ガイドラインが設けられており、二次創作作品の投稿に関しても基準が定められている。その際に、二次創作作品の投稿を基本的に許可しているサイトを○、許可していないサイトを×としている。また、一部の小説投稿サイトでは、許可されている作品のみ、二次創作作品の投稿が認められている場合がある（表1中では△で表している）。

今回調査対象とした11の小説投稿サイトの概要を解説していく。これは、小説投稿サイト名称の50音順に並べている。また、以下に記述する内容は各小説投稿サイトの紹介から得られた情報であり、細かな典拠情報の参照はおこなわない。

1. 暁 URL : <https://www.akatsuki-novels.com/>

小説投稿サイトとして、個人で運営されているサイトである。開設年は2012年であり、「小説家になろう」の中の「にじファン」という二次創作を中心としたコンテンツが2012年7月20日に廃止され、二次創作禁止になったことに起因して誕生したサイトである。そのため、二次創作は全面的に許可されており、二次創作作品が多く掲載されている。

2. アルファポリス URL : <https://www.alphapolis.co.jp/>

小説だけでなく、漫画やビジネス等に関する情報も扱う、多岐にわたるエンターテインメントサイトを謳っており、様々なコンテンツが展開されている。運営元は、株式会社アルファポリスであり、開設年は2000年とかなり歴史は長い。出版社が運営しているため、読者から多く読まれた作品や、評価の高い作品は出版申請をすることで、申請が通った場合、作家としてデビューすることが可能である。他にも、コンテストも数多く開催されている。

3.エブリスタ URL : <https://estar.jp/>

「誰もが輝ける場所(every-star)」をコンセプトとし、多様なジャンルの作品を投稿することができる小説投稿サイトを売りにしている小説投稿サイトである。運営会社は株式会社エブリスタであり開設年は2010年である。携帯電話・スマートフォンでの投稿や閲覧にも対応しており、気軽に投稿することが出来る。

4.カクヨム URL : <https://kakuyomu.jp/>

株式会社 KADOKAWA が運営している小説投稿サイトであるため、株式会社 KADOKAWA が刊行している小説やレーベルの著者とのコラボや、期間限定公開のショートストーリー、無料の読み切り等も多い。一般の著者による作品も数多く投稿されており、様々なジャンルのコンテストや、レーベルのコンテストも積極的に行われている。また、2024年3月より、「カクヨムネクスト」という、プロの小説家が執筆した小説を有料で読むことが出来るサブスクリプションがコンテンツの1つとして追加された。

5.小説家になろう URL : <https://syosetu.com/>

小説投稿サイトとして、最も有名なサイトの内の1つである。運営元は株式会社ヒナプロジェクトであり2004年から運営されている。ユーザー数や小説数、読者数がかなり多く、多様なジャンルの小説が投稿されている。また「小説家になろう」に投稿されていた小説の書籍化、漫画化、アニメ化等のメディアミックスも活発に行われており、人気作品も数多く生まれている。それらの作品や、他の小説投稿サイトからメディア化された作品を含め、「なろう系」の作品と称されることもあるように、小説投稿サイトとして、有名なサイトである。

6.ステキブンゲイ URL : <https://stekibungei.com/>

一般文芸を中心とした小説投稿サイトである。細かくジャンルが分かれており、恋愛、コメディ、スポーツ・音楽、純文学、詩、エッセイ等、25種類に分かれているため、読者も小説を選びやすい。また、「ステキアカデミー」という有料の講座も存在しており、これは「ステキブンゲイ」の運営会社であるステキコンテンツ合同会社代表兼小説家でもある中村航が講師となり、小説の書き方をはじめとする小説に関する様々な事柄を学ぶことが出来る講座である。

7.野いちご URL : <https://www.no-ichigo.jp/search>

2007年開設でスターツ出版株式会社が運営する10代~20代女子をターゲットとした小説投稿サイトである。そのため、様々なジャンルの小説を投稿することができるが、特に恋愛小説に重きが置かれている。また、20代~40代の大人の女性をターゲットにした同社運営の小説投稿サイトとして、「Berry's Cafe」もあり、同社の小説投稿サイトの中で、区別されている。

8.ノベルアップ+ URL : <https://novelup.plus/>

2019年に開設された小説投稿サイトである。特徴としては、作者と読者の距離が近く、作品に対する感想をチャット形式でスタンプや文章を用いて投稿し、作者も同じ立場で返

信、回答をすることができる点が挙げられる。また、スタンプやアバターを課金して購入することも可能であり、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)のように、作者・読者問わず交流することが出来る。

9.NOVEL DAYS URL : <https://novel.daysneo.com/>

株式会社講談社と、システムの運営をおこなう株式会社未来創造が共同で運営している小説投稿サイトである。キャラクターアイコンを使用した会話重視の作品であるチャットノベルや、複数のユーザーと作るコラボノベルも投稿することができる。また、「作家アトリエ」が設けられており、作者ごとのマイページをある程度自由に作成することが出来るようになっているため、小説だけでなく、作者にも焦点が当たるようになっている。

10.ハーメルン URL : <https://syosetu.org/>

前述した「暁」と同じく「にじファン」の閉鎖に伴い誕生した小説投稿サイトである。このサイトも個人で運営がなされている。特徴として、読者が細かな評価を付けることができ、それぞれの小説ごとに、1から10までの点数で自由に評価をすることができる。

11.魔法のiらんど URL : <https://maho.jp/>

女性向けの小説投稿サイトであり、恋愛、BL小説が数多く投稿されている。運営会社は「カクヨム」と同じく株式会社 KADOKAWA であり、開設年は1999年と今回挙げた小説投稿サイトの中では最も歴史が長い。ただし執筆時点の情報ではあるが、2025年3月31日をもってサービスを終了し、「カクヨム」の中のコンテンツの1つとして運営されていくことが決定されている。

第2章 ジャンル分析

第1節 ジャンル分析結果

小説に紐づいているジャンルを元に、比較分析を行った。ジャンル分けは各小説投稿サイトによって細部が異なっており、そのジャンル設定においても特徴が存在するため、まず、ジャンルの分け方の特徴を分析した。その後、それぞれのサイトから抽出したランキング上位の小説のジャンルを分析し、人気のジャンルについての比較や動向を探った。

ただし、「暁」「ハーメルン」の2つの小説投稿サイトは、二次創作小説が大半を占めているためか、他の小説投稿サイトとはジャンル分けが大きく異なっていたため、分析を行っていない。「暁」は「オリジナル」「二次創作」の2つにしか分かれておらず、一次創作作品は「オリジナル」としか表記されていなかった。「ハーメルン」は一次創作作品にもジャンルが付与されていたが、二次小説が8割以上を占めている為、残りの2割のジャンルを探る意義は他の小説投稿サイトとの比較という観点で考慮すると見いだせなかった。このため、2つの小説投稿サイトにおいては、他の小説投稿サイトと比較する際には「オリジナル」「二次創作」の区別のみをジャンル分けとすることにし、二次創作作品の原作やオリジナル作品の細かなジャンル分けは考慮しないこととした。

1. アルファポリス

表 2 は、小説投稿サイト「アルファポリス」の月ごとの上位 100 作品のジャンルを抽出したものである。

表 2 (ジャンル/アルファポリス)

ジャンル	作品数割合 (%)
ファンタジー	13
恋愛	71
ミステリー	0
ホラー	2
SF	0
キャラ文芸	0
ライト文芸	0
青春	0
現代文学	0
大衆娯楽	0
経済・企業	0
歴史・時代	0
児童書・童話	1
絵本	0
BL	10
エッセイ・ノンフィクション	3
合計	100

ジャンルは 16 種類に分かれているが「恋愛」や「ファンタジー」が大きめのくくりとして一つのジャンルでまとめられており「キャラ文芸」「ライト文芸」「経済・企業」といった一般文芸のジャンルにおいて細分化されていることがわかる。これはサイトの開設年が 2000 年と他の小説投稿サイトよりも古く、当時はファンタジーや恋愛を主軸とした作品が今ほど一般的、また人気でなかったことを示しているのかもしれない。また、詩や俳句といった小説以外の文学作品はジャンル分けがなされておらず、「エッセイ・ノンフィクション」としてまとめられていることがわかる。

表 2 からわかる「アルファポリス」の特徴としては、上位 3 ジャンルのみで、恋愛が 71 作品、ファンタジーが 13 作品、BL が 10 作品と、合計 94 作品となり、ほとんどを占めていて、人気作品のジャンルに偏りが生じていることがわかる。特に、恋愛のみで 7 割以上占めており、恋愛小説がより多く読まれていることがわかる。

2. エブリスタ

表 3 は「エブリスタ」の人気ランキングの上位 100 作品のジャンルを抽出したものであ

る。

表 3 (ジャンル/エブリスタ)

ジャンル	作品数割合 (%)
恋愛	74
ファンタジー	3
恋愛ファンタジー	6
現代ファンタジー	1
ノンフィクション	0
BL	15
青春	0
SF	0
ミステリー	0
ホラー	0
ヒューマンドラマ	0
エッセイ・HowTo	1
歴史・時代	0
コメディ	0
詩・童話・絵本	0
設定・プロット	0
合計	100

ジャンルは 15 種類に分かれており、中でも「ファンタジー」が 3 つに分かれている。ジャンル分けの基準によると、ファンタジーは「現代とは異なる世界を主な舞台としたファンタジー小説」、恋愛ファンタジーは「恋愛とファンタジー両方の要素を含む小説」、現代ファンタジーは「現代や現実に近い世界で、架空の現象・生き物・物が登場する小説」とある。また、「設定・プロット」というジャンルが設けられており、ランキング上位には入っていないが、投稿されている長編小説の裏設定や、書き溜められているプロットが投稿されていた。

表 3 からわかる「エブリスタ」の傾向としては、恋愛が 74 作品と圧倒的に多い。しかし、「恋愛ファンタジー」は割合として少数であることを踏まえると、現代とは異なる世界では無く、現代に近い世界を舞台とした恋愛をテーマとした小説が人気であることがわかる。

3. カクヨム

表 4 は、「カクヨム」の月別ランキングの上位 100 作品のジャンルを抽出したものである。

表4 (ジャンル/カクヨム)

ジャンル	作品数割合 (%)
異世界ファンタジー	54
現代ファンタジー	26
SF	2
恋愛	1
ラブコメ	16
現代ドラマ	0
ホラー	0
ミステリー	0
エッセイ・ノンフィクション	0
歴史・時代・伝奇	1
創作論・評論	0
詩・童話・その他	0
合計	100

12種類のジャンルに分かれており、ファンタジーは異世界、現代の二つに分かれている。また恋愛系のジャンルとしてBLは存在しておらず、「恋愛」「ラブコメ」の二つに分かれている。この二つの違いとしては、「ラブコメ」は「主として男性が主人公の恋愛を中心テーマとして描かれた作品が対象のジャンル」であり、「恋愛」は「主として女性が主人公、または同性間の恋愛を中心テーマとして描かれた作品が対象のジャンル」とある。言い換えれば、「恋愛」は女性向け、「ラブコメ」は男性向けとも言える。また、「創作論・評論」という、小説を始めとする創作活動関連の技術論や論評に関するジャンルが「エッセイ」とは別に設けられていることも特徴である。

表4からわかる「カクヨム」の傾向は、「異世界ファンタジー」が54作品と半数以上を占めていることである。次点が26作品で現代ファンタジーであることも加味すると、ファンタジー作品が人気であることがわかる。また、先に挙げた「恋愛」と「ラブコメ」の違いも踏まえ、「恋愛」が1作品、「ラブコメ」が16作品であることを考えると、「カクヨム」においては、女性向けの小説よりも男性向けの小説を好む著者、読者が多いと言えるのではないかと考えられる。

4.小説家になろう

表5は、「小説家になろう」の月間ランキングの上位100作品のジャンルを抽出したものである。

表 5 (ジャンル/小説家になろう)

ジャンル (上位)	ジャンル (下位)	作品数割合 (%)
恋愛	異世界	76
	現実世界	0
ファンタジー	ハイファンタジー	13
	ローファンタジー	4
文芸	純文学	0
	ヒューマンドラマ	6
	歴史	0
	推理	0
	ホラー	0
	アクション	0
SF	VR ゲーム	0
	宇宙	0
	空想科学	0
	パニック	0
その他	童話	0
	詩	0
	エッセイ	0
	リプレイ	0
	その他	1
ノンジャンル		0
合計		100

特徴的なジャンル分けがなされており、上位のジャンルとして 6 つ、その下に 2~6 種類の下位のジャンルに分かれており、合計 20 種類のジャンルに分かれている。ファンタジーのジャンルである「ハイファンタジー」と「ローファンタジー」とは、前者は異世界、後者は現実世界を舞台としているファンタジー作品である。また、文芸作品のジャンル分けは一般的な分け方であると考えられるが、SF 作品が細かくジャンル分けされている点は特徴的である。

表 5 からわかることとしては、一番多いのは「恋愛」中の「異世界」のジャンル 76 作品であり、次点は「ファンタジー」中の「ハイファンタジー」のジャンルで 13 作品である。先行研究として挙げた本田、伊東の研究では“実際に「小説家になろう」における累計ランキング上位 100 作品を見ると、ほとんどがファンタジーな異世界に転生する小説で

あると分かる”と述べている⁴。2017年時点でのデータであることを踏まえ、現在の累計ランキングを参照したが、確かに、そのほとんどが「ハイファンタジー」の連載作品であった。しかし、月間ランキングに着目した場合、「異世界」ではあるものの、「ファンタジーな世界に転生する作品」よりも「異世界を舞台とした恋愛」の小説が人気であることがわかる。

その二つのランキングの違いを考察する中で、「小説家になろう」のトップページのランキングが「連載中ランキング」「短編ランキング」と2つに分かれていることに着目し、独自に、今回抽出した100作品における、「連載小説」「短編小説」の二つの比率についても調査した。その結果、興味深いことに、抽出した上位100作品の中で短編小説が60作品と、半数以上を占めていることが分かった。また、短編小説60作品の中で、51作品は、異世界の恋愛を扱っている作品であることも分かった。日間や累計等、月間以外のランキングの情報は抽出していないため確実なことは言えないが、この事実から推察すると、累計ランキングにおいては、字数、話数の多い連載小説、特に「ファンタジー」作品が上位に入っているが、期間を区切って計測した場合、実際に多く読まれているのは、異世界を舞台にした「恋愛」小説であると言えるのではないかと考えられる。また、連載小説に限定した場合でも、連載小説40作品の中で、異世界の恋愛を描いた作品が25作品であったことに対し、ファンタジーのハイファンタジーの作品が10作品と、異世界の恋愛のジャンルが人気であることは変わらないことがわかる。

5.ステキブンゲイ

表6は、「ステキブンゲイ」の人気ランキング上位100作品のジャンルを抽出したものである。

表6 (ジャンル/ステキブンゲイ)

ジャンル	作品数割合 (%)
恋愛	13
SF	5
歴史・時代	7
BL・プロロマンス	2
ファンタジー	9
ミステリー	8
ホラー・スリラー	2
冒険	3
仕事・企業・政治経済	0
サスペンス・犯罪小説	4
コメディ	2

学園	3
青春	13
スポーツ・音楽	1
ヒューマンドラマ	16
ノンフィクション・批評・感想	3
旅行記・体験記	1
おもしろ記事	0
純文学	1
詩	2
短歌	0
俳句	0
エッセイ	4
児童小説	0
その他	1
合計	100

「ステキブンゲイ」は、前章でも述べた通り、一般文芸を中心とした小説投稿サイトである。「ファンタジー」は一つのジャンルにまとまっているが、一般文芸のジャンルを細かく分けることで 25 種類のジャンルに分かれている。例えば「エッセイ」や「ノンフィクション」に含まれているであろうジャンルが「ノンフィクション・批評・感想」「旅行記・体験記」「おもしろ記事」といった細かな分類がなされているのがわかる。また「学園」「青春」「スポーツ・音楽」といった、学園を舞台とした小説も細かく分類分けされている。小説家の中村航が代表を務めている会社が運営している小説投稿サイトである上、開設年も比較的新しい 2020 年であるため、読者目線でもより細かくジャンルをわけることができたのだと考える。ジャンルが細かくわかれていることで、作者にとっても自身の小説の特徴を把握しやすくなり、読者のニーズにも応えやすくなると思われる。この小説投稿サイトのジャンルはかなり特徴的であると言えるだろう。ここまで紹介してきた小説投稿サイトは、一番多いジャンルは過半数を大きく超えていることが多かったが、この小説投稿サイトは一番多くてもヒューマンドラマの 16 作品であり、飛びぬけて多いジャンルが 1 つも無い。全 25 ジャンルの中で、1 作品以上上位 100 作品の中に含まれているジャンルが 20 ジャンルもあり、多種多様な作品が読まれていることがわかる。一般文芸中心であることを前面に謳っている小説投稿サイトであるため、様々なジャンルの作品を書きたい・読みたい人が集まっているのではないかと考えられる。

6. 野いちご

表 7 は「野いちご」の人気ランキング上位 100 作品のジャンルを抽出したものである。

表7 (ジャンル/野いちご)

ジャンル	作品数割合 (%)
恋愛 (キケン・ダーク・不良)	24
恋愛 (逆ハー)	5
恋愛 (ピュア)	19
恋愛 (ラブコメ)	3
恋愛 (オフィスラブ)	0
恋愛 (学園)	21
恋愛 (実話)	0
恋愛 (その他)	7
青春・友情	3
ノンフィクション・実話	2
ミステリー・サスペンス	0
ホラー・オカルト	8
ファンタジー	7
歴史・時代	0
コメディ	1
絵本・童話	0
実用・エッセイ	0
詩・短歌・俳句・川柳	0
その他	0
合計	100

サイトが対象としている読者が 10~20 代の女子であるためか、ジャンルの特徴として「恋愛」が中心となっていることがわかる。「恋愛」が 8 つのジャンルに分かれており、合計 19 種類のジャンルに分かれている。その中では「青春・友情」や「コメディ」等、対象の年齢に合わせてジャンル分けがなされていると考えられる。また、同じように、恋愛のジャンルの 1 つであろう「BL」の項目は存在せず「その他」に含まれていると考えられる。「現代」と「異世界」のどちらを舞台としているのかは重要視していないことがわかる。

表 7 よりわかることは、「恋愛」のジャンルの小説が 79 作品と全体の 8 割弱を占めていることである。特にその中では「恋愛 (キケン・ダーク・不良)」「恋愛 (ピュア)」「恋愛 (学園)」の 3 つが特に多く、それらのジャンルの人気が高いことがわかる。また、「恋愛」のジャンルの中で唯一「恋愛(実話)」のみが 0 作品であり、現実の恋愛を元に書かれた実

話は上位 100 作品に含まれていない。「恋愛」のジャンル以外では、「ホラー・オカルト」が 8 作品と、他の小説投稿サイトと比べると多く、「ホラー・オカルト」ジャンルの作品の著者や読みたい読者も一定数存在していると考えられる。

7. ノベルアップ+

表 8 は「ノベルアップ+」の月間ランキング上位 100 作品のジャンルを抽出したものである。

表 8 (ジャンル/ノベルアップ+)

ジャンル	作品数割合 (%)
異世界ファンタジー	39
現代/その他ファンタジー	17
SF	8
コメディ/ギャグ	6
恋愛/ラブコメ	6
文芸/純文学	0
現代/青春ドラマ	2
ホラー	3
ミステリー	0
歴史/時代	12
詩/短歌	1
童話/絵本/その他	0
エッセイ/評論/コラム	6
ブログ/活動報告	
ノベプラ掲載作品紹介	
二次創作	
合計	100

ジャンル分けの特徴として 16 種類のジャンルに分かれていることがわかる。ファンタジー作品が「異世界ファンタジー」と「現代/その他ファンタジー」の 2 つに分かれているものの、基本的に幅広くジャンル分けがなされている。前章で述べたように、感想欄で会話ができる等、作者と読者の距離が近いという特徴がある小説投稿サイトであるためか、「ブログ/活動報告」というジャンルも存在している。他の小説投稿サイトでは、小説とは別枠で作者ページに活動報告を載せられるサイトが多い。また、「ノベプラ掲載作品紹介」とは、「ノベルアップ+内の作品を扱った作品紹介・論評」につけられるジャンルである。

まず、「ブログ/活動報告」「ノベプラ掲載作品紹介」「二次創作」の 3 つは、ランキングに反映されない為、斜線を引いている。その上で、表 8 からわかる特徴を挙げていくと、

「異世界ファンタジー」39 作品、「現代/その他ファンタジー」17 作品、「歴史/時代」12 作品の順に多く、ファンタジー作品を合わせると 56 作品と、全体の半数以上を占めていることがわかる。残りの 44 作品は特に目立って多いジャンルは無く、平均して様々なジャンルの小説が含まれていることがわかる。ここで筆者らが注目したのは、「文芸/純文学」「現代・青春ドラマ」「ミステリー」といった、一般文芸の中でもよく見るようなジャンルの作品がほとんど上位 100 作品に含まれていないことである。つまり、これは月間ランキングを参照した上で言えることだが、そもそも一般文芸を書きたい、あるいは読みたいと考えている作者・読者はこの小説投稿サイトの利用者においてはあまり多くないのだとも捉えられる。よって、「ノベルアップ+」の傾向として、一般文芸よりも、ライトノベルに近いファンタジー作品や歴史/時代を扱った作品、ジャンルとして挙げるのであれば、「異世界ファンタジー」が一番人気であると言えるのではないかと考えられる。

8.NOVEL DAYS

表 9 は「NOVEL DAYS」の月間ランキングの上位 100 作品のジャンルを抽出したものである。

表 9 (ジャンル/NOVEL DAYS)

ジャンル	作品数割合 (%)
ファンタジー	24
恋愛・ラブコメ	11
ミステリー	7
学園・青春	8
現代アクション	4
ホラー	3
現代ドラマ・社会派	3
歴史	6
SF	3
経済・金融	0
自己啓発	2
ノンフィクション	5
健康・医療	1
科学	1
社会・思想	4
恋愛論・結婚	0
創作論・評論	1
日記・個人ブログ	13

その他	4
合計	100

ジャンルを参照すると、19種類のジャンルに分かれており、「ファンタジー」、「恋愛」はそれぞれ一つのジャンルとして扱われている。特徴的であるのは「自己啓発」「健康・医療」「科学」「社会・思想」「恋愛論・結婚」「創作論・評論」といった、小説ではない、評論やエッセイと言った作品のジャンルが細分化されていることである。一般文芸作品のジャンルも多岐にわたっており、様々なジャンルの作品を執筆することが可能である。

表9よりわかることとしては、「ファンタジー」が24作品と一番多いが、4分の1にも満たない。次点が「日記・個人ブログ」で13作品、3番目に「恋愛・ラブコメ」で11作品となっている。実に様々なジャンルの作品が投稿されていることがわかる。実際、上位100作品の中に、17種類ものジャンルの作品が含まれており、多岐にわたっていることが見て取れる。そして、2番目に「日記・個人ブログ」が来ていることから分かるように、小説以外の作品、エッセイや論評といった作品も数多く投稿されていることがわかる。

また、この小説投稿サイト「NOVEL DAYS」の特徴として、一般小説、チャットノベル、コラボノベルの3つのタイプの小説を作成、投稿することができる点が挙げられる。それぞれの小説の種類で、ジャンルの傾向が異なる可能性も考え、今回抽出した100作品の小説のタイプを調べてみた。しかし、実際上位100作品のほとんどが一般の小説であり、チャットノベルは数作品、コラボノベルは1作品も含まれていなかったため、一般小説に限定した場合でもジャンルの傾向はほとんど変わらなかった。また、チャットノベルに限定してみた場合でも「恋愛・ラブコメ」「ホラー」「ファンタジー」「日記・個人ブログ」等ジャンルは多岐にわたっており、傾向は見いだせなかった。

9.魔法のiらんど

表10は、「魔法のiらんど」の月間ランキング上位100作品のジャンルを抽出したものである。

表10 (ジャンル/魔法のiらんど)

ジャンル	作品数割合 (%)
ラブコメ	5
学園 LOVE	2
オトナ LOVE	17
歪んだ愛	24
不良 LOVE・アウトロー	13
ドラマ	1
恋愛	36

BL	0
ファンタジー	0
ホラー	0
時代・歴史	0
ミステリー	0
青春	2
エッセイ	0
料理	0
旅行	0
文芸	0
ショートストーリー	0
キャラクター・プロット	0
その他	0
合計	100

ジャンル分けの特徴として、20 種類のジャンルに分かれている。「魔法の i らんど」が女性向けの小説投稿サイトで、主に恋愛小説を専門としているためか、恋愛に関するジャンルが細分化されていることがわかる。対照的に、「ファンタジー」等のジャンルは一つにまとまっているが、一般文芸のジャンルに関しては、ある程度分かれている。また、女性向けの小説投稿サイトとして、「料理」「旅行」といった特徴的なジャンルも見受けられる。

表 10 を参照するとほぼ全作品が恋愛に関係しているジャンルの作品であることが挙げられる。恋愛以外のジャンルで 1 作品以上含まれているのは、「ドラマ」（定義は「人生、友情、家族愛など、恋愛以外の要素をテーマとしたストーリー」と、「青春」（定義は「キラキラまぶしい、揺れ動く繊細な気持ちや日々をテーマにしたストーリー」）のみである。また、恋愛関連のジャンルが多い中で、「恋愛」というジャンルが存在しているが、これは、他ジャンルでは当てはまらない恋愛小説のことであり、先述した小説投稿サイト「野いちご」における「恋愛(その他)」と同じようなジャンルである。

「恋愛」のジャンルが 36 作品と作品数が最も多い。2 番目に、「歪んだ愛」24 作品、3 番目に「オトナ LOVE」17 作品と続いている。「恋愛」のジャンルにおいて、どの様な小説が人気であるのかはこの表から読み取ることはできないが、他の結果を見るに、先述した「野いちご」と比べると、作者や読者の年齢層はやや高いように感じられる。

第 2 節 ジャンル分析におけるまとめ・考察

ここまで 9 の小説投稿サイトを挙げ、ジャンル分析結果について論述した。調査をし、考察する中で、それぞれの小説投稿サイトで特徴や類似点が見受けられた。それぞれの小説投稿サイトの中には、ジャンル分けと実際の小説のジャンル分布を見比べて、噛み合っ

ていないと感じたサイトも存在していた。

筆者らは、今回ジャンルを元に分析・考察を行った9つの小説投稿サイトに、「暁」「ハーメルン」を含めた11つの小説投稿サイトを、今回の調査結果を元に4つのグループに分けて考えることにした。

- 1.恋愛作品が人気な小説投稿サイト：「アルファポリス」「エブリスタ」「小説家になろう」「野いちご」「魔法のiらんど」
- 2.ファンタジー作品が人気な小説投稿サイト：「カクヨム」「ノベルアップ+」
- 3.二次創作作品が人気な小説投稿サイト：「暁」「ハーメルン」
- 4.人気な作品のジャンルが多岐にわたっている小説投稿サイト：「ステキブンゲイ」「NOVEL DAYS」

次章では、作品に付与されているキーワードを用いて分析するが、そこで、この4つのグループごとに分けて詳しく比較を行っていくこととした。理由としては、同じ「恋愛」であっても、学園、異世界が舞台、オフィスラブ等、様々な違いが存在する。その中で、それらのジャンルが大まかに似通っている小説投稿サイト同士で詳細な比較をすることで、各小説投稿サイトの相違点、類似点を分析することができると考えた。

第3章 キーワード分析

第1節 キーワード分析結果

前章では、小説投稿サイトの上位100作品に含まれている情報のうちジャンルを抽出し分析を行った。この章ではキーワード（「タグ」と表記されている小説投稿サイトも存在したが、本稿ではキーワードとして統一する）に着目し、小説投稿サイトの比較分析を行っていく。

キーワードとは、小説に紐づけられている1~10文字程度の単語や短い文の事であり、作者が自由に付与することができる。各小説投稿サイトによって異なるが最大8~10個程度付与することが可能である。このキーワードを用いて読者は検索することが可能であるため、読みたい小説をジャンル以上に細かく検索することができる。また作者の側からしても、小説の内容に沿った単語を付与することで、読者に読んでもらう機会が増える。ここで注意すべき点は、検索で用いられる単語として付与されているキーワードは、「他の小説と同じ要素を含む小説」であることを示すために付与されているという点である。そのため検索しやすいように、一般的な単語やよく聞く単語を用いていることが多い。そして、それらとは別に各小説独自の要素としてのキーワードが付与されていることも多く、それらは各小説の個性を示すために作者が付与していると言える。また、小説に含まれている要素を示しておくことで、読者にとって望ましくない小説を回避することにも繋がる。

キーワードは大きく分けて二つの種類がある。

一つ目に、小説に含まれている具体的な内容や舞台、登場人物、出来事を示している単

語である。上記で記述したのはこの使い方であり、内容の要素を示すことで、読者が作品を検索、取捨選択するに用いている。二次創作小説の中には、原作に関する内容をキーワードで付与していることも多い。

二つ目に、レーティングや一般的な注意喚起としてのキーワードである。小説投稿サイトに投稿されている小説は、対象としている年齢層が高いことが多く、「R-15」等のキーワードが付与されている小説も多く存在する。また、「暴力描写有り」「性描写有り」「原作改変」といった、内容に具体的に関わっている単語ではないものの、読者に対する注意喚起のような役割を担っている。

つまり、キーワードは同じジャンルに区分されている小説を、より詳細に区分するものであると言える。そのため各小説投稿サイトの比較においてもキーワードの頻出語彙を調べることで、より詳細な比較・分析をすることが可能であると考えた。

そのために前章でジャンルの傾向から分類した4つのグループごとに分けて、比較分析を行うことにした。

方法として、まずそれぞれの小説からキーワードを抽出した。さらに頻出語彙を調べるために手作業で集計し統計を取った。

その際、表記ゆれであると考えられるキーワード(「コメディ」と「コメディー」、全角と半角等)に関しては、同じキーワードとして集計し、その旨を示した。しかし、「もふもふ」と「モフモフ」、「幼なじみ」と「幼馴染」等)どちらの表記も間違いとは言えず、作者が意図的に付与している可能性のある表記の違いに関しては、別物として扱うこととした。

1.恋愛作品が人気な小説投稿サイト(「アルファポリス」「エブリスタ」「小説家になろう」「野いちご」「魔法のiらんど」)

表11は、上記の5つの小説投稿サイトのブックマークや評価などによって決定されるランキング上位100作品に紐づけられていたキーワードを抽出し頻出単語の上位10単語と使用回数を提示したものである。「種類数」は抽出した全てのキーワードの種類数、「合計」は、上位100作品に付与されていたキーワードの総数、「平均使用数」は、1種類のキーワードが用いられている回数の平均(小数第3位で四捨五入)である。

表11(キーワード/アルファポリス,エブリスタ,小説家になろう,野いちご,魔法のiらんど)

	アルファポリス		エブリスタ		小説家になろう		野いちご		魔法のiらんど	
1	異世界	59	大人の恋	54	女主人公	53	溺愛	46	溺愛	57
2	ハッピーエンド	56	溺愛	45	ハッピーエンド	39	甘々	42	独占欲	49
3	ざまあ	43	甘々	38	R15	32	独占欲	28	切ない	33
4	恋愛	41	切ない	31	ざまあ	27	胸キュン	26	束縛	31
5	婚約破棄	20	オフィスラブ	22	異世界転生	26	イケメン	20	狂愛	29
6	ファンタジー	16	ハッピーエンド		西洋	23	切ない	19	純愛	23
7	溺愛	10	純愛	20	残酷な描写あり	21	暴走族	18	大人	
8	転生		ラブコメ	15	魔法	18	高校生	16	不良	20

9	BL	9	ドS	12	婚約破棄	16	ベタ惚れ 総長 同居	15	激甘	16
10	ほのぼの 浮気 魔法	8	御曹司	9	シリアス	15			俺様 同居	14
種類数		376		287		326		275		219
合計		749		698		785		823		721
平均使用数		1.99		2.43		2.41		3.01		3.29

これまでの調査結果を踏まえると「アルファポリス」「小説家になろう」は異世界を舞台とした恋愛小説が人気だった。また、「野いちご」「魔法のiらんど」はそもそも恋愛小説を主に専門として扱っている小説投稿サイトであり、「恋愛」の中でも様々なジャンルに分けられていたことがわかっている。また、「アルファポリス」を見てみる「異世界」と「転生」の単語が見受けられ、「小説家になろう」においても、「異世界転生」という単語が存在している。やはり異世界を舞台とした作品が多いことがわかる。

まず、「ざまあ」という単語に着目したい。「アルファポリス」「小説家になろう」の2つのサイトにおいて、上位に位置している。「ざまあ」とは、「ざまあ見ろ」を略した単語であると考えられ、主に主人公を酷い目に合わせる登場人物が因果応報で酷い目に合っている小説や、分不相応な幸福や地位を得ている登場人物がそれを失う様を描いている小説につけられている。しかし、他の3つの小説投稿サイトにおいては、このキーワードはあまり使用されていない。他に「婚約破棄」というキーワードも、「アルファポリス」と「小説家になろう」において10番目までに存在しているものの、他の小説投稿サイトには見受けられず、「ハッピーエンド」は、それに加えて「エブリスタ」にも投稿されているものの、上記2サイトにおいてはどちらも2番目に多いことがわかる。

無論、他の小説投稿サイトにおいて使われていないからと言って、その傾向の作品が少ないとも言い切れない。例えば「ハッピーエンド」のキーワードがあまり用いられていないから、バッドエンドやビターエンドの作品が人気であり、ハッピーエンドの作品が少ないとも言い切れない。キーワードで検索する際に利用されるため、その小説投稿サイトの読者が重要視している要素が何であるのか、筆者らは、それを探ることができると思う。

つまり、ここから考察すると、「アルファポリス」や「小説家になろう」の作者、読者が小説を検索する際に重要視している部分が見えてくるのではないかと考えられる。

次に、「エブリスタ」「野いちご」「魔法のiらんど」の上位キーワードが類似していることに着目する。3つのサイトの10番目までのキーワードの中から、一致しているもの以下にまとめた。

3つのサイト全てで表11に挙げられている単語：「溺愛」「切ない」

「エブリスタ」と「野いちご」で表11に挙げられている単語：「甘々」

「エブリスタ」と「魔法のiらんど」で表11に挙げられている単語：「純愛」

「野いちご」と「魔法のiらんど」で表11に挙げられている単語：「独占欲」「同居」

どれも恋愛小説につけられていると考えられるキーワードであり、一致していないが類似している単語も存在している。例えば、「甘々」と「激甘」、「胸キュン」と「純愛」、「暴走族」や「総長」と「不良」である。こうして比較すると、どれも前者は「野いちご」に存在しているキーワードであることも分かる。

以上の情報および類似点を踏まえ、それぞれの小説投稿サイトを 1 つずつ分析していく。

1.1 野いちご

1 つ目に、直前に挙げた「野いちご」を分析する。これまでの調査結果から考察すると、先述の特徴は、読者の年齢層の違いを示していると考えられる。「野いちご」は、「10～20 代の女子」を対象とした小説投稿サイトであり、小説を投稿している作者が想定している読者層も同様である。作者の年齢層も、他の小説投稿サイトと比較すると若めであるかもしれない。そのため、言葉もできるだけ若者向けの難しくない言葉を使用しているのではないかと考えられる。「高校生」という単語が見受けられることや、「大人の恋」や「オフイスラブ」、「束縛」と言った大人の恋愛に関する単語は存在してないことから、人気の作品の傾向として読者の年齢層が若めであり、主人公を含めた登場人物の年齢も高校生といった、比較的若い世代の作品が人気であると考えられる。

1.2 魔法の i らんど

同じように分析すると、「魔法の i らんど」は、女性向けであることは変わらないものの、作者および読者の年齢層が少し上がるのではないかと考えられる。先ほど挙げた「束縛」以外にも、「狂愛」「大人」「激甘」「俺様」といった単語が見受けられ、大人向けの恋愛をテーマとした作品が多いように感じられる。また、多く使用されている単語の中に、役職や立場を示す単語が少なく、恋愛における登場人物の関係性や、感情、シチュエーションを示唆している単語が多いことがわかる。これは、ジャンル分けとして、「学園 LOVE」「不良 LOVE」「オトナ LOVE」といった大まかなジャンル分けがなされているため、上位に入っていないのだとも考えられるが、例えば、先ほど挙げた「野いちご」に見られた「高校生」「暴走族」のような細かなジャンル分けとしての単語が全く見受けられないことから、そのジャンルの中でも、人気の小説が多岐にわたっていると考えられる。また、前章において、「恋愛」のジャンル（恋愛小説における、その他のジャンル）が一番多いことがわかり、それがどのような内容の小説が人気であるのかキーワードから探ることを考えた。しかし、表 11 からわかることとしては、「溺愛」「切ない」「純愛」といったキーワードであれば「恋愛」のジャンルに区分される可能性もあるものの、先ほども述べたように登場人物の役職や舞台を示すキーワードが無く、詳しく読み取ることはできなかった。その上、表 11 に記載していない部分の抽出した情報全体を参照しても、傾向を見出すことはできなかった。その理由として、「種類」「合計」「平均使用数」を参照すると、他の小説投稿サイトと比べ「合計」はあまり変わらないものの、キーワードの種類が少ないことがわかる。つまり、それぞれの小説の個性を示すためにキーワードを利用することが少なく、画一的なキーワードを多く用いていることが見受けられる。ここから考察すると、「魔法の

iらんど」においては、キーワードにおいて、小説の特異性を出すといった使い方はあまりされておらず、他の要素(タイトル、表紙)で各小説の特異性を示している、または、画一的な小説を好む読者が多く各小説の特異性や個性を重視していないと考えられる。あるいは、3月に運営が終わることも踏まえると、そもそもの読者数が少ないために、今回抽出した作品が偏っていた可能性もある。

1.3 エブリスタ

「エブリスタ」について、他のサイトと比較しつつ、分析と考察を行う。第1章でも述べたが、「エブリスタ」は様々なジャンルの小説が投稿されているサイトであり、恋愛専門の小説投稿サイトではない。しかし、実際には掲載されている作品のうちほとんどが恋愛小説であり、「野いちご」「魔法のiらんど」と同じく、女性向けの小説が人気であることがわかる。しかし比較したときに、5番目「ハッピーエンド」と、8番目「ラブコメ」という単語が、先ほど述べた2サイトと異なっていると考える。「ラブコメ」というキーワードは、恋愛ではあるものの、「コメディ(喜劇)」という要素も加わっている。そして、同じようなキーワードとして「ハッピーエンド」という単語も、先ほどの2サイトとの差異が現れているのではないかと考えられる。物語中のコミカルさや、物語の結末に対する爽快さ、読了後の後味の良さを求めている読者が一定数いる為に、「ラブコメ」「ハッピーエンド」といったキーワードが多く用いられているのではないかと考えられると考える。とはいえ「大人の恋」「溺愛」「甘々」といった単語が多用されていることには変わりないため、女性向けの小説が人気であるとは間違いない。

1.4 アルファポリス

4つ目に「アルファポリス」だが、「異世界」「転生」「ファンタジー」という単語が見られることから、現実と似ている世界を舞台とした小説ではなく、異世界を舞台とした小説が人気であることがわかる。また先に述べたことと同様に「ハッピーエンド」や「ざまあ」という単語から、恋愛を等身大に描くよりも、コメディ要素が含まれていたり、善悪がはっきりとした物語性の強い小説が好まれていたりすることが予想できる。その具体的な内容として、例えば夫の「浮気」、一方的な「婚約破棄」といった悪が存在している小説や、「ほのぼの」とした恋愛小説、「転生」「魔法」と言った、異世界であることが強調されている小説等が考えられる。つまり「恋愛」をテーマとした小説でありつつも、等身大の恋愛では無く、創作色が強く恋愛だけでなくコメディや異世界ファンタジー、復讐といった別のジャンルの要素を取り入れた作品が多いことが伺える。

また、9番目に「BL」という単語が出てきていることから、男女の恋愛だけではなく、男同士の恋愛をテーマとした小説も一定の人気を得ていることがわかる。

1.5 小説家になろう

最後に「小説家になろう」について考察する。基本的には「アルファポリス」と類似した傾向が見られるが、違いとして、1番目に挙げられている「女主人公」というキーワードに着目する。ここに挙げた5つの小説投稿サイトの中では「小説家になろう」のみで使

用されていることがわかるが、他のサイトにおける小説も、女性が主人公の小説が多いことは想像に難くない。なぜこのサイトのみで圧倒的に使用されているのだろうか。その理由として、「小説家になろう」においては、基本的に主人公が男性の小説が多いからであると考えられる。総合的に様々なジャンルの小説が投稿されているものの、先ほど述べたように累計ランキングから考察すると、「ファンタジー」の長編小説がランキング上位を占めている。そして、累計ランキング上位の「ファンタジー」作品をいくつかピックアップしてみたが、男性主人公の作品が圧倒的に多かった。男性が主人公の作品が「普通」であるからこそ、主人公が女性の小説を投稿する際に「女主人公」というキーワードを付与しているのだと考える。また、「西洋」という単語も、現実世界における西洋の国々を直接指し示しているわけではない。「西洋」というキーワードがつけられている小説のあらすじをいくつか見たところ、「西洋」風の現代とは異なる世界観の作品で、城や王、侯爵、子爵といった、中世ヨーロッパの貴族社会をモチーフとしている「異世界」を舞台とした作品が多いことがわかった。異世界を舞台とした小説が多く投稿されているからこそ、世界観を説明しているキーワードとして「西洋」という単語が使われていることがわかる。

2. ファンタジー作品が人気な小説投稿サイト（「カクヨム」「ノベルアップ+」）

表12は小説投稿サイト「カクヨム」「ノベルアップ+」の上位100作品に紐づけられていたキーワードを抽出し、頻出単語の上位10単語を提示した物である。

表12 (キーワード/カクヨム,ノベルアップ+)

	カクヨム		ノベルアップ+	
1	カクヨムオンリー	31	アクション/バトル	41
2	ハーレム	28	男主人公	
3	主人公最強	26	シリアス	36
4	ごまあ	22	ノベプラオンリー	34
5	異世界転生	21	女主人公	28
6	男主人公	20	R15	27
7	ヤンデレ	12	第5回HJ大賞	
8	掲示板		コメディ	24
9	成長	11	西洋風	21
10	スローライフ	10	ダーク	19
	ダンジョン配信		現代日本	
	ラブコメ		転生/転移	
	学園			
種類		319		375
合計		867		1085
平均使用数		2.72		2.89

また、これらとは別に、「暴力描写有り」「残酷描写有り」「性描写あり」（以上「カクヨム」）「暴力描写あり」「残酷な描写あり」「性的表現あり」（以上「ノベルアップ+」）というキーワードが上位に入っていた。しかし、これらは作者が自由に単語を選んで設定したのではなく、運営側が用意したセルフレーディング用のキーワードであるため、今回は集計には入れているが、上位 10 単語には含めていない。

まず、双方に共通している類似点を見ていく。前章の調査結果では、「カクヨム」「ノベルアップ+」双方のサイトで「異世界ファンタジー」と「現代ファンタジー(現代/その他ファンタジー)」を合わせるとどちらも半数以上の割合を占めているという点で類似していた。その上で、表 12 から「男主人公」というキーワードがどちらも上位に含まれていることがわかる。

また、「カクヨムオンリー」「ノベプラオンリー」という、その小説投稿サイトのみで投稿している作品につけられているキーワードが、1 番目と 4 番目という、かなり上位に存在していることがわかる。とはいえ、どちらも 30 個前後、100 作品から抽出したことを考えると 3 割程度ではあるので、複数の小説投稿サイトに掲載している作品の方が多いと考えられるが、その割合の多さについてはさておき、「〇〇オンリー」というキーワードが浸透しており、上位 10 単語の中に含まれているという点に着目したい。先ほど挙げた 5 サイトも含め、他の小説投稿サイトでは、このようなキーワードはほとんど見られない。ここから分析できることとして、この 2 サイトにおいてはその小説投稿サイトのみで投稿している点が特別視されており、読者側も読書基準としてその点を重要視している読者が多いのではないかと考えられる。その背景として「小説家になろう」が存在していると考えられる。「ファンタジー作品」が投稿されている小説投稿サイトとして、最も有名なサイトは「小説家になろう」である。そして、それらの作品は「なろう系」といった単語で一括りにされることもあり、先行研究で挙げたように、画一的になりつつあると考えられていた。そのため、作者の心情として、「従来の枠を外れたファンタジー作品である」「画一的な作品ではない」ということを示すために「〇〇オンリー」というキーワードを用い、「カクヨム」や「ノベルアップ+」のみで投稿しているのではないかと考えられる。

ここからは、それぞれの相違点も含め、1 サイトずつ詳しく分析していく。

2.1 カクヨム

「カクヨム」は、ジャンルが定まっておらず、様々なジャンルの小説を投稿できる総合小説投稿サイトである。前章では、異世界ファンタジーが半数を占めており、約 3 割が現代ファンタジー、約 2 割が「ラブコメ」「恋愛」のジャンルであることがわかった。それをもとに表 12 を見ると、「小説家になろう」や「アルファポリス」でも存在した「ごまあ」や「異世界転生」といった単語が目立っていることがわかる。また、「男主人公」という単語が 6 番目に存在しており、「女主人公」という単語が上位 10 単語に含まれていないことは、「小説家になろう」との相違点である。「カクヨム」においてこれらの作品の主人公の性別の比率は調査していない為不明だが、「小説家になろう」の項で述べたように「ファン

タジー」作品においては男性主人公の作品が多い。また、「恋愛」と「ラブコメ」のジャンルの比率から考察しても、男性向けの小説が多く読まれていることがわかる。これらの情報から考察すると、「男主人公」の作品が多い可能性があると考えられる。

その上で、どの様な内容の小説が多いのか分析する中で「ハーレム」「主人公最強」「ヤンデレ」といった単語に着目する。どれも「異世界ファンタジー」だけではなく、「現代ファンタジー」、あるいは「ラブコメ」においても存在しうる単語であると考えられるが、舞台や世界観は違っても、話の展開は以下のような物語が考えられる。

- ・主人公が特異な力を得て（あるいは「成長」して）「最強」になり、活躍していく物語。
- ・異世界で冒険していく中で様々な女性から好かれ、「ハーレム」を築いていく作品。（「ヤンデレ」のヒロインが人気である可能性もあるが、ヒロインの個性として確立しやすい為に、この単語が上位に存在している可能性もある。）

もちろんこれは一例である上、それぞれのキーワードは多くても20から30個しか使用されておらず、「異世界ファンタジー」作品に限定したとしても半数程度の作品にしか付与されていない。それぞれの小説で個性があるからこそ人気が出ているのであり、ここからも、画一的になってはいないと思える。

また、今回挙げたキーワードの中で、「掲示板」という単語に疑問を抱いたため、調査した。このキーワードが用いられている作品を読んでみたが、「現代ファンタジー」において多く使われている単語であることがわかった。物語の途中で、ネットにおいて不特定多数の人間がコメントしあう「掲示板」を真似ている文章を用いている小説につけられている単語である。不特定多数の三人称で登場人物の評価や行動を、短い文書を連ねるように記している。これは、今日のスマートフォンやSNSの普及により、インターネットを通じて全世界の人間の思考や感想、意見を目にすることが増えた影響もあり、「掲示板」「コメント欄」のような形の意見を連ねている文章を用いることで読者の共感を得やすい、また、読みやすくなると想定されているのではないかと考えられる。

2.2 ノベルアップ+

続いて、「ノベルアップ+」を分析していく。こちらは「アクション/バトル」「シリアス」といった単語が目立ち、「カクヨム」のように恋愛要素を彷彿とさせる単語は含まれていない。そして、ここで用いられている「西洋風」という単語も、異世界における世界観を示している単語であると考えられる。そのため、このサイトにおいては、純粋な冒険ファンタジー作品が多いのではないかと考えられる。

また、「女主人公」という単語も上位に含まれている。恋愛ではなく、ファンタジー作品が多い事を考慮すると、恋愛要素を含んでいないファンタジー作品においても、女性主人公の作品も多く存在しているのではないかと考えられる。

また、6番目の「第5回 HJ 大賞」というキーワードだが、これは「第5回 HJ 小説大賞後期 ノベルアップ+部門」というコンテストに応募するために用いられているキーワードである。コンテストの選考方法は編集部や運営による審査であってランキングや閲覧

数は選考基準とはならないが、「HJ 小説大賞後期では、中高生からの架空小説ファンをメインターゲットとするエンターテインメント(娯楽)作品、キャラクター作品を募集いたします」⁵とあるため、この影響で、ファンタジー小説の投稿数が増え、一時的に多く読まれていた可能性も捨てきれない。

3.二次創作作品が人気な小説投稿サイト（「暁」「ハーメルン」）

表 13 は小説投稿サイト「暁」「ハーメルン」の上位 100 作品に紐づけられていたキーワードを抽出し頻出単語の上位 10 単語を提示したものである。

表 13 (キーワード/暁,ハーメルン)

	暁		ハーメルン	
1	オリ主	67	残酷な描写	74
2	残酷描写	45	R-15	69
3	R-15	42	オリ主	68
4	神様転生	23	転生	64
5	転生	22	アンチ・ヘイト	33
6	宇宙	12	クロスオーバー	31
7	戦争		独自解釈	23
8	SF	11	独自設定	21
9	アンチ		性転換	18
10	チート		憑依	17
種類数		362		382
合計		703		947
平均使用数		1.94		2.47

この2つの小説投稿サイトは、他の9つの小説投稿サイトとは、二次創作作品が投稿の中心となっているという点で大きく異なっているが、この2つの小説投稿サイトを比較すると、かなり似通っていることがわかる。まず、1番目から3番目までに登場している単語が、順番は違えども同じである。しかし、「残酷描写(残酷な描写)」や「R15」はレーティング表示である。また全体に目を向けてみても、「独自設定」や「独自解釈」、「アンチ」といったキーワードが上位にきており、具体的に小説の内容を示しているキーワードが他の小説投稿サイトと比べて少ない。理由として、二次創作小説が投稿の中心であることが原因であると考えられる。キーワードの役割として、世界観や詳しいジャンルを説明することで、小説を読んでもらいやすくなる、というメリットが存在する。しかし二次創作小説には、必ず「原作」が存在し、「原作」を記している時点で世界観やジャンルの説明は済んでいるという考え方も成り立ちうる。また「オリ主」というキーワードは「原作の主人公やキャラクター」ではなく、作者自身が考えたオリジナルのキャラが「主人公」であることを示している。「神様転生」「転生」といったキーワードが存在していることを踏まえると、「原作の世界に、二次創作小説の作者が考えた登場人物が転生してくる」といった展開の二次創作小説が人気であることが考えられる。とはいえ、それぞれの原作によって話の展開やジャンルが大きく異なっていることが考えられるため、「暁」「ハーメルン」とい

う二次創作小説が人気の小説投稿サイト 2 つをより詳細に比較する為に、今回抽出した 100 作品の原作の上位 10 作品を表 14 にまとめた。また、「ハーメルン」は 1 作品につき指定できる原作が 1 つだが、「暁」は原作を複数個指定できる為、集計した際の合計が異なっている。

表 14 (暁,ハーメルンのランキング上位 100 作品の原作の上位 10 作品)

暁		ハーメルン		
1	銀河英雄伝説	23	ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだろうか	14
2	魔法少女リリカルなのは	19	ブルーアーカイブ	12
3	Fate シリーズ	18	BLEACH	4
4	ソードアート・オンライン	9	呪術廻戦	
5	魔法先生ネギま!	8	Re:ゼロから始める異世界生活	3
6	真・恋姫†無双		オーバーロード	
7	機動戦士ガンダム	6	ソードアート・オンライン	
8	ゼロの使い魔		葬送のフリーレン	
9	NARUTO	Fate シリーズ		
10	ハイスクール D×D	機動戦士ガンダム		
			プロジェクトセカイ	
合計		169		100

「Fate シリーズ」と、「機動戦士ガンダム」、「ソードアート・オンライン」に関しては、どちらの小説投稿サイトにおいても上位 10 番目までに含まれているが、他の作品は異なっている。「暁」のみで人気である作品を見ると、原作が既に完結している作品や、アニメの放送終了から何年も経っているものの、根強く人気な作品が多い傾向にあると考えられる。一方、「ハーメルン」においては、今現在アニメが放送されている作品や、まだ完結していない作品、ゲームを原作とした作品が多い傾向にあると考えられる。そこから分析すると、「暁」の方が作者、読者の年齢層が高いのではないかと考えられる。あるいは、「ハーメルン」は、近年においても新しい作者や読者が増えている一方、「暁」は昔から長く利用している作者や読者が多いという可能性も考えられる。

4. 人気な作品のジャンルが多岐にわたっている小説投稿サイト (「ステキブンゲイ」「NOVEL DAYS」)

表 15 は、小説投稿サイト「ステキブンゲイ」「NOVEL DAYS」の上位 100 作品に紐づけられていたキーワードを抽出し、頻出単語の上位 10 単語を提示したものである。

表 15 (キーワード/ステキブンゲイ,NOVEL DAYS)

	ステキブンゲイ		NOVEL DAYS	
1	恋愛	27	恋愛	12
2	青春	8	エッセイ	11
3	ヒューマンドラマ	7	ファンタジー	10
4	学園		R-15	
5	切ない	6	男主人公	9
6	ラブコメ		ミステリー	
7	グルメ	5	女主人公	8
8	シリアス		ヒューマンドラマ	
9	高校生	4	切ない	7
10	SF		コメディ	
	現代ファンタジー		シリアス	
			長編	
種類数		331		371
合計		465		591
平均使用数		1.40		1.59

「平均使用数」を見るとわかりやすいがキーワードとして使用されている単語の種類が多岐にわたっており、平均使用数は他の小説投稿サイトよりも低くなっている傾向にある。また、1 番目に挙げている「恋愛」という単語においても、他の小説投稿サイトでもっとも多く使用されていた単語と比べ、個数が少ないことがわかる。ここから見ても、人気のある小説が多岐にわたっていることがわかる。

全体を通して特徴的であると考えられるのは「恋愛」「エッセイ」「ファンタジー」「SF」といったジャンルを示している単語が多く見受けられることである。「恋愛」が 1 番に来ているが、そもそも「1.恋愛のジャンルが人気な小説投稿サイト」として挙げた表 11 を参照すると、「アルファポリス」においては 4 番目に入っているが、それ以外的小説投稿サイトでは 10 番目までに入っていない。ここに挙げた 2 サイトは、人気のあるジャンルが多岐にわたっているからこそ、ジャンルも含めてキーワードとして登録しているのではないかと考えられる。

この結果をもとに、2 つの小説投稿サイトを比較することを考えた。しかし、それぞれのキーワードは多くても 10 個程度しか使われておらず、その差はほとんど誤差である。そのため、この表から「相違点」を見出すことは可能であるが、はっきりとした「傾向」を見出すことは困難であると考えられる。その上で、表 15 のみを見て判断する場合、「ステキブンゲイ」は「高校生」「ラブコメ」「学園」といった単語から、作者や読者の年齢層が低めであり、女性の読者も多いのではないかとと思われる。一方、「NOVEL DAYS」は、「ミステリー」「エッセイ」「R15」といった単語から、作者や読者の年齢層が高いように思われる。

この 2 つの小説投稿サイトは、際立った傾向が読みとれず、作者、読者層が多岐にわた

っている、自由な小説投稿サイトであると言える。あるいは、そもそもの作者数や読者数が少ない為に、傾向が見えにくい可能性もある。

終章 当研究の限界と展望

今回、小説のジャンルやキーワードから、各小説投稿サイトを比較分析し、相違点などを見出した。しかし、分析していく上で、情報が不足していることを痛感することが多かったように思われる。特に、傾向を見出す中で、「作者」「読者」のどちらに要因が存在しているのかを示す情報が不足していた。それぞれの小説投稿サイトに投稿されている全て、あるいは一定の期間に投稿された作品のジャンルの分布や小説の投稿数、コンテストの開催状況等の、「作者」に焦点を当てた情報、また、各小説の閲覧数や読者数といった、「読者」に焦点を当てた情報を用いれば、より詳細に分析を行うことができたと考えられる。

当研究は、小説の情報以外に、小説投稿サイトの運営者が定めた「ジャンル分け」も比較対象に含んでいる。そのような、小説投稿サイト自体にも焦点を当てることで、それぞれの小説投稿サイトの比較分析がより詳細に行えたのではないかと考えている。当研究は小説投稿サイトを比較する上で、一視点としてジャンルおよびキーワードに焦点を当てたものであり、言い換えれば一面的な研究であるとも言える。しかし、小説の人気や流行は一時的な側面もあり、それぞれの小説投稿サイト自体も様々な取り組みを行い、進化している。1年後全く同じ研究をしたとしても間違いなく結果は変化するが、2024年11月16日時点での人気のある小説のジャンル、キーワードを元にした分析として意義のあるものであると考える。

付言

当研究は筆頭著者の卒業論文を基にしたものである。

引用・参考文献

(注) 以下の URL の参照日はすべて 2025 年 2 月 6 日である。

- 1) 本田優也、伊東栄典「利用者投稿型小説サイトにおけるキーワードの多様性分析」『情報処理学会研究報告』A2-4, 2017.3,p.1-6.
- 2) Prologue | 5分で読める短編小説投稿サイト <https://prologue-nola.com/>
- 3) ショートショートガーデン(SSG) <https://short-short.garden/>
- 4) 前掲1,p2.
- 5) 第5回 HJ 小説大賞後期「ノベルアップ+」部門 | 小説投稿サイトノベルアップ+ <https://novelup.plus/event/novelaward-2024/>

(やましろ たくま 東京学芸大学)

(いまの そうすけ 東京学芸大学)

2025年4月9日受理